

各位

 2026年6月15日  
 碧海信用金庫

**2026年3月期（令和7年度）決算発表**

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、2026年3月期（令和7年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

## 記

## 1. 主要業績数値

（単位：百万円）

		2026年3月期 （当期）	2025年3月期 （前期）	増 減
預貸金状況	預金積金残高	2,327,368	2,319,026	+8,341 （+0.35%）
	貸出金残高	1,253,005	1,218,100	+34,904 （+2.86%）
損益状況	業務純益	2,085	4,428	△2,343 （△52.90%）
	実質業務純益	2,085	4,428	△2,343 （△52.90%）
	コア業務純益	4,577	4,309	+268 （+6.24%）
	コア業務純益 （投資信託解約損益を除く）	5,382	4,882	+500 （+10.24%）
	経常利益	4,313	5,299	△986 （△18.61%）
	当期純利益	3,275	3,988	△712 （△17.86%）
健全性	純資産額	149,635	156,589	△6,953 （△4.44%）
	（うちその他有価証券 評価差額金）	△45,996	△35,826	△10,170 （△28.38%）
	自己資本比率（単体）	15.31%	15.50%	△0.19ポイント
	不良債権比率	2.71%	2.95%	△0.24ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

- ・ 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
- ・ 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・ コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。

## 2. 業績コメント

### 〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期比 8,341 百万円増加の 2,327,368 百万円となりました。
- 貸出金残高は、個人向け、事業者向け貸出ともに増加し、前期比 34,904 百万円増加の 1,253,005 百万円となりました。

### 〔損益状況〕

- 国内金利の上昇により、貸出金利息や預け金利息等の増加が預金利息や人件費等経費の増加を上回り、本業の利益であるコア業務純益（投資信託解約損益除く）は、前期比 500 百万円増加の 5,382 百万円となりました。
- 金利上昇に伴い、収益性の向上を目的として低利回りの有価証券の損切りを実施したこと等により、業務純益は前期比 2,343 百万円減少の 2,085 百万円、経常利益は前期比 986 百万円減少の 4,313 百万円、当期純利益は前期比 712 百万円減少の 3,275 百万円となりました。

### 〔健全性〕

- 金利上昇に伴う有価証券評価損の拡大により、その他有価証券評価差額金は  $\Delta$ 45,996 百万円となりましたが、内部留保により蓄積された利益剰余金（194,459 百万円）で十分に吸収できる水準です。
- 自己資本比率（単体）は、前期比 0.19 ポイント低下の 15.31%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っております。
- 不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.24 ポイント低下の 2.71%となりました。

以 上